再びメダマザトウムシ Caddo medama Kishida を福井縣にて採集す

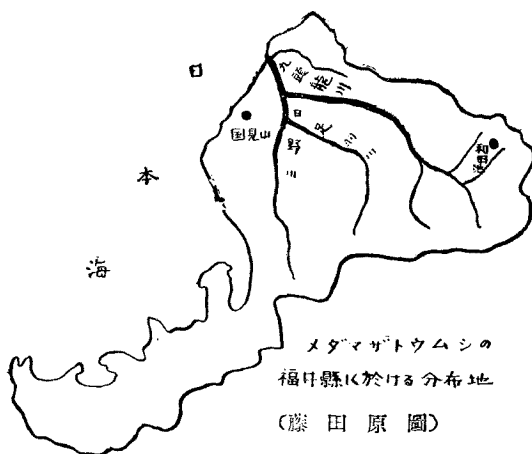
藤　田　　衛

福井縣坂井郡鶉村砂子坂

筆者は曩に本誌第1卷第4號（139—140）に於て，本邦で未だ6頭しか採れなかつたメダマザトウムシ *Caddo medama* Kishida の7頭目を，一昨年（1936）8月福井縣大野郡和田山の和田池附近（海拔約000米）で採集したことを報じて置いた。其後本縣内に於て新分布地を發見したので，こゝに簡單に報じて置く次第である。

さて昨年（1937）7月4日，日曜を利用して福井縣坂井郡國見山方面へ蜘蛛採集に出かけた。この國見山は日本海に面する海岸山脈の一部であつて，海拔656.1米に過ぎない低い山で，大木らしいものは殆んど無く只雜木，笹類，スヽキ等の多い山である。近年頂上には放牧場として冬季を除いて馬を放飼してゐる。

此の日お天氣模様はよい方であつたが，中腹迄上つて來ると何時現はれて來たのか知らないが眞黑な雲が頭上に現はれて小雨がぽつぽつと降つて來た。それで雨具の用意もなかつたので頂上行きは斷念して山を降りにかゝつた。山の裾迄來ると空は稍々晴間生じ雨もやんでしまつたので，この儘歸宅するのも殘念だと思ひ，山の東側を流れて居る用水に沿ふて採集して歩いた。可なり乾燥はしてゐるものゝ，ヒメザトウムシ *Bienia delicata* Kishida ヒトハリザトウムシ *Gagrella japonica* Roewar コハザトウムシ *Nelima valida* Kishida が可なり居る。さて何か變つたものでも居らぬものかと探し求めて歩いた甲斐あつ

メダマザトウムシの福井縣に於ける分布地
(藤 田 原 圖)

て，ナツツバキ *Stewartia pseudocamellia* Maxim. の下の落葉の上を1頭の小さい可愛いザトウムシの1種が歩いてゐる。筆者は直覺的にメダマザトウムシではないかと思ひながらそつと捕へた。よくみれば正しく本邦に於て8頭目のメダマザトウムシであつた。筆者の喜びは格別でしたこれで今日の採集行も上々であると雨に感謝した。もう居らぬものかと思ひながら雜木林の中を四つ這ひになつて探し求めたが，1頭も採る事が出來ずにしまつた。この種の個體數は僅少ではなからうかと愚考するのである。

尙該種の標本は和田山產のものは，岸田久吉先生が御所藏され居られるし，國見山產のものは筆者が所藏してゐる事を明記して置く。

(昭和十三年四月三十日認)

原 稿 募 集

本誌次號の原稿を募集致します。本號は最初原稿が足りなくつて編輯に聯か苦勞しました。會員の會誌たる事をよく御自覺の上，如何なる內容のものでも結構ですから蜘蛛に關係のあるものはどしどしと御寄稿下さい。次號締切は8月25日に致します。尙8月中は編輯子不在の事が多いので御送稿は例により事務所宛にお願ひ致します。又生態寫眞を御所持の方は是非本誌に御發表下さる樣改めてお願ひ申上ます。第4號原稿締切は9月25日。是非夏休中に一文を草して下さい。 (植村利夫記)